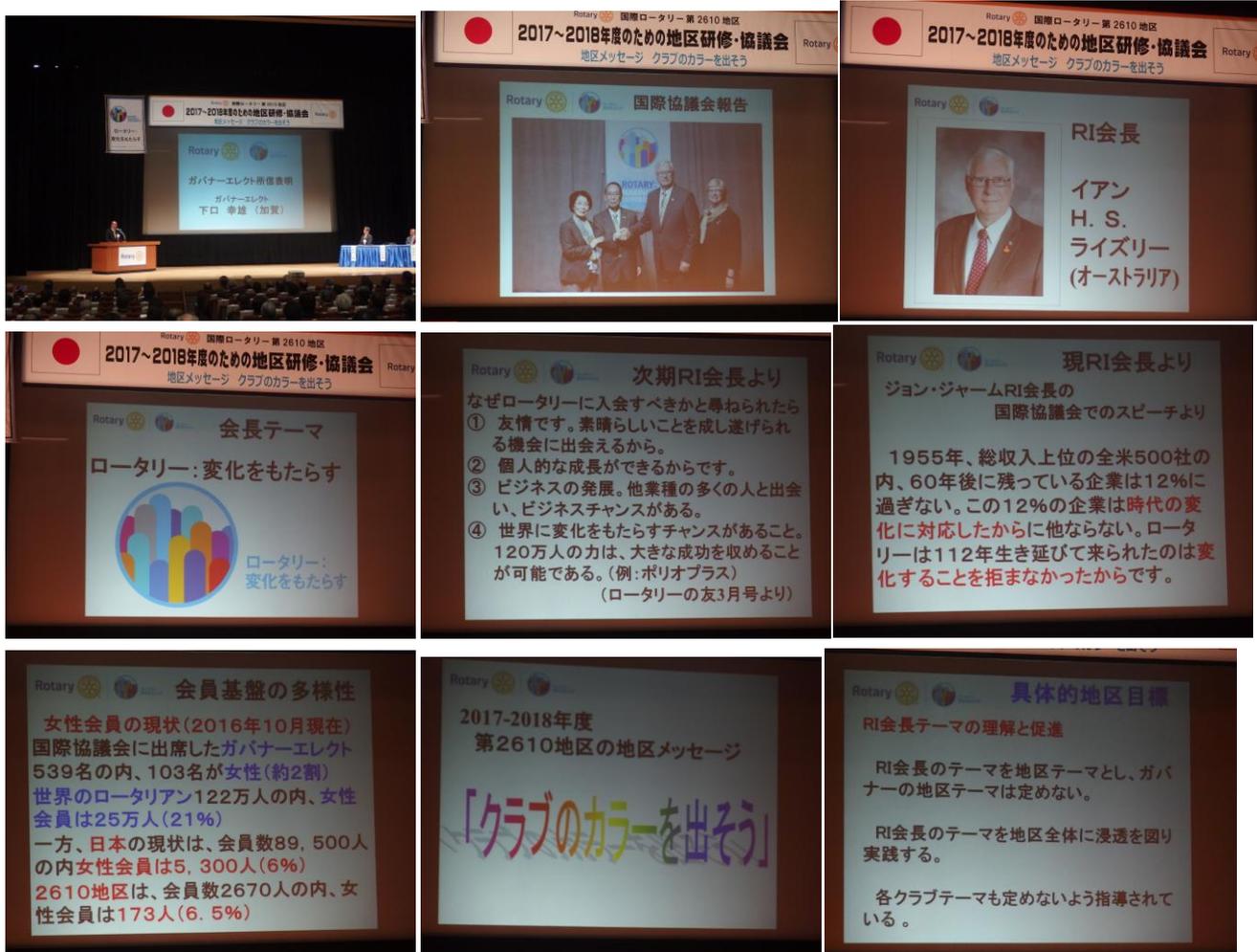
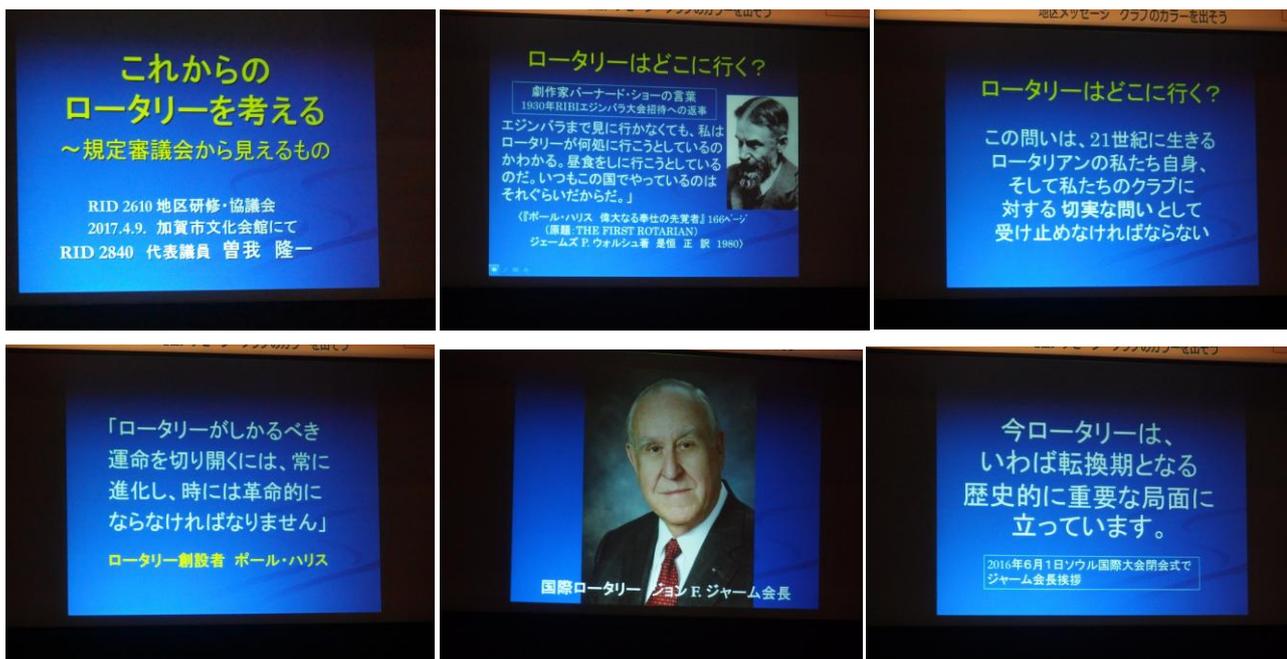


スライド写真集



特別講演 1



ロータリーがこの世界、時代に合った存在であり続けるために、私たちは何をすべきだろうか？

戦略計画の最新情報

規定審議会
2016年4月10日
代表議員オリエンテーション

2015年10月の決定

理事会は以下のことに同意

- ロータリーは時代に追いついていかなければならない
- ロータリーは時代に適応しなければならぬ
- ロータリーは将来への備えができていなければならない

2016年規定審議会

〈2016年規定審議会の最大のトピック〉

「柔軟性」という「例外規定」の導入

16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件

16-36 会員身分に柔軟性を認める件
(いずれもRI理事会提案)

16-21 例会頻度と出席の柔軟性

クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定めることができる。ただし、最低1ヶ月に2回は開催しなければならぬ。

クラブには以下のオプションが与えられる

- クラブがいつ、どのくらいの頻度で例会を開くか決める
- 適切な出席要件を定める
- 欠席による終結の方針を修正または削除する

16-36 会員身分の柔軟性

第9条 会員身分に関する規定の例外
会員身分に関する規定の例外を認め、クラブが細則で独自決定できる。
(正会員と名誉会員の分類は残る)

- 各々の地域社会にふさわしい基準に基づいて、またクラブの戦略的ビジョンに沿って、優れた資質を持つ人の入会を検討できるようにする。
- クラブの入会基準を満たすローターアクターが、ローターアクトクラブにおける会員身分を維持すると同時に、ロータリークラブに入会することを認めるようにする。

16-38 会員身分の規定を変更

会員身分の条件を簡素化

標準ロータリークラブ定款 第10条 会員身分
第1節 一般的資格条件。本クラブは、善良な成人であって、職業上、および(または)地域社会において良い評判を受けている者
善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および(または)地域社会でよい評判を受けており、地域社会および(または)世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

2016年規定審議会 標準ロータリークラブ定款の改正

16-05 クラブ内の委員会について規定する件
標準ロータリークラブ定款を次のように改正する

第13条 理事および委員
第7節 クラブ・リーダーシップ・プランは次の委員会を定める。

- ・クラブ管理運営
- ・会員増強
- ・公共イメージ
- ・ロータリー財団
- ・奉仕プロジェクト

必要に応じて追加の委員会を任命できる。

その他の主な標準ロータリークラブ定款の改正点

16-06 クラブ定款にロータリークラブの目的(Purpose)を新設する。

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

その他の主な標準ロータリークラブ定款の改正点

16-07 クラブ会員の入会金を廃止

RI細則と標準ロータリークラブ定款中の入会金に関するすべての言及を削除する。

ロータリアンとなれる見込者の持を増やすことが目的。

ただし、従来通り入会金を維持したいクラブはクラブ細則で任意に設定できる。

その他の主な標準ロータリークラブ定款の改正点

16-10 奉仕の第二部門の改正
(2840地区提案)

第6条 五大奉仕部門

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手帳を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

標準ロータリークラブ定款 第5条 五大奉仕部門

〈具体的な会員の行動やクラブの活動を表現〉

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、…「行動」(action)
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、…
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、…「取り組み」(efforts)
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、…
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、…

世界のロータリーでは、自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人が行うものであれ、クラブが行うものであれ、すべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されている！

クラブ・リーダーシップ・プラン (Club Leadership Plan: CLP) の機能別委員会構成

- ・クラブ管理運営
- ・会員増強
- ・広報(公共イメージ)
- ・ロータリー財団
- ・奉仕プロジェクト

奉仕プロジェクトの1小委員会としての「職業奉仕」

2017~2018年度のための地区研修・協議会

地区メッセージ クラブのカラーを出そう

その他の主な標準ロータリークラブ定款の改正点

16-30 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認める

従来型のクラブでもインターネット例会が可能。同時に、Eクラブも顔を合わす例会が可能に。(その後16-82と折衷案として統合された)

16-82 従来型クラブとEクラブの区別をなくす
(2500地区創路RC提案)

RI細則とクラブ定款からEクラブ条項を削除する(組織編にEクラブの文書は消滅したが、個々のEクラブで「O/Eクラブ」等のクラブ名の変更を必要はない)

その他の主な標準ロータリークラブ定款の改正点

16-40 ローターアクターとロータリー学友が正会員となることを認める

ローターアクターとロータリー学友にロータリークラブ会員となる資格を与える。

※ これによって職業分類が一時的に制限を超えてもよい。ローターアクターは2重会員となれる

※ 職業分類は削除されていない。5名 or 10%ルールは維持。(国際ロータリー定款、標準RC定款)

16-99 人頭分相金を増額する件

RI副会長からの修正勧告が可決し、毎年4ドルずつの値上げが決まる(原案は1ドル/年)

17-18年度	60ドル
18-19年度	64ドル
19-20年度	68ドル

ちなみに、16-17年度は58ドル。
投資収益が悪化して、RIの財政が厳しいという認識。2014-15年度の年次報告によると、RIの投資収益は5,123,000ドルのマイナス。ロータリー財団の投資収益は4,798,000ドルのマイナスと報告されている。

2016年規定審議会: クラブ運営に大幅な柔軟性

Q: 一連の変更によって、ロータリーの評判やブランドが損なわれることはありませんか？

2016年審議会で採択された制定案は、例会や会員種類に関するクラブの柔軟性を認める一方で、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。

審議会による変更は、ロータリー会員の資格や資質を脅かすものではありません。むしろ、これらの変更は、第2世紀においてロータリークラブが今日の意義を持ち続け、変化する環境に適応していく能力を与えるものです。

地区メッセージ クラブのカラーを出そう

- ロータリアンは、事業や専門職および地域社会のリーダーであることに変わりはありません。会員の資格に変更はありません。
- ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。
- ロータリーの本質を表した文「リーダーのネットワークへ」「アイデアを広げる」「行動する」に変更はありません。
- 親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップというロータリーの価値観に変更はありません。
- ロータリーの最も大切な特徴の一つである「四つのテスト」に変更はありません。

新しいクラブの運営形態
星クラブについて規定する件が採択13-32

親クラブとは違う時間と場所に例会を開くことができる。

新クラブの土台を築き易くできる

地区メッセージ クラブのカラーを出そう

クラブに柔軟性を取入れた事例
東京〇〇ロータリークラブ (2580地区)

2015年3月認証

対象：事業主ベンチャー企業家、一般社会人、専業主婦、財団・来山学友会等

年会費
①事業主またはこれに準ずる会員 100,000円
②一般社会人 41才以上 170,000円
③一般社会人 31才以上 100,000円
④専業主婦・シニア(75才以上) 100,000円

会員数：130名(名誉会員を含む・女性会員34名・1年後の目標200名)

例会：第2・第4木曜 19:00～20:00
現在例会は月8回増加

地区メッセージ クラブのカラーを出そう

「ロータークラブ細則」の変更がクラブの明日をきめる

「例外規定」の適用はクラブの将来を左右する。

最終的には、自クラブをどのようなクラブにしたいか、会員全員参加で十分なコンセンサスを得ることから始めましょう !!

特別講演 2

国際ロータリー第2610地区 地区研修・協議会
2017年4月9日(日)

クラブのビジョン
づくりを進めよう!
～日本のロータリー100周年に向けて考えたいこと～

日本のロータリー100周年委員会
ビジョン策定特別委員会 委員長
RID2840 (群馬) ハストガハナー
本田 博己 (前橋)

ベテラン会員の嘆き...

- ★ 最近の国際ロータリー(RI)の方向性はおかしいのでは?
- ★ RIは、人道的奉仕に傾きすぎ?
- ★ 会員増強は、人頭分担金のため?
- ★ 柔軟性の導入は、ロータリーの原則を崩すのではないか?
- ★ RIは、「職業奉仕」を忘れていない?
- ★ 最近ロータリーは質が落ちた!?
- ★ 何も知らない若い会員が増えた!?

クラブの現状を憂える
ベテラン会員は、
次のように自問してみるべき

会員はクラブの現状に満足しているか?

若い会員は何を求めているか?

クラブの質の低下は誰のせいにか?

あなたのクラブが
直面している
大きな課題は
何ですか?

- ◎ 会員数の減少が止まらない
- ◎ クラブの活力が失われている
- ◎ 会員間に意識のギャップがある (ロータリー歴、役職、...)
- ◎ 親睦の機会が少なすぎる (or 多すぎる)
- ◎ ロータリーのことをよく知らない(関心がない)会員が増えている
- ◎ 奉仕活動がマンネリ化している(新しい奉仕プロジェクトを開発したい)
- ◎ 地区内外の他クラブとの交流をもっと活発にしたい

Rotary

戦略計画

価値観を行動に

私たちは、国際社会に生み出された多様な文化、歴史、言語、宗教、価値観を尊重し、私たちが高潔性をもって約束を守り、倫理を守ります。
多様性を擁護するロータリーは、さまざまな考え方を尊重し、多角的なアプローチで問題に取り組みます。
私たちは、奉仕を通じてロータリークラブの発展のスキルを生かし、地域社会の発展に取り組んでいます。

戦略的目標

- 1. クラブのサポートと強化
- 2. 親睦の機会を増やす
- 3. 会員間の意識のギャップを埋める

戦略的目標

1. クラブのサポートと強化
Support and Strengthen Clubs

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- ・会員基盤の多様性を奨励する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

クラブがさらに飛躍するために

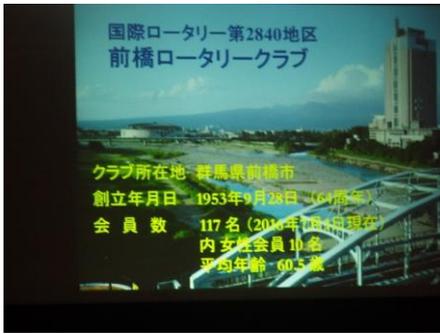
1. クラブの5年後の姿を思い描く
2. 年度目標を立て、ローラー・クラブ・セントラル に入力する
3. クラブ協議会を通じて全会員の積極的参加を促し、情報を伝える
4. クラブ内でオープンなコミュニケーションを促す
5. 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る
6. クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する
7. 会員同士の交流を深める
8. 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする
9. ロータリーのリーダーとなる人材を育てる
10. クラブ運営に必要な委員会を設置する

* CLPにおける9段階の実行策

- 1 長期計画の立案
- 2 年度目標の設定
- 3 クラブ協議会での情報提供
- 4 クラブ内および地区・クラブ間の意思疎通
- 5 クラブ指導者の育成と継続性の確保
- 6 委員会構成とクラブ細則の変更
- 7 親睦の機会
- 8 奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加
- 9 包括的な研修企画 (2005年当時のCLP)

クラブ戦略計画の
立案と推進が
クラブが直面している
課題を解決する
突破口になります!

前橋ロータリークラブの
元気なクラブづくりの
事例をご紹介します。



**前橋ロータリークラブ
21世紀委員会活動**

2003年12月:「前橋RC 21世紀特別委員会」(通称:21世紀委員会)の創設。

- ① 前橋RC創立50周年の節目に、クラブの現状を総点検する。
- ② 2003-04年度 森田ガバナーが提唱した「魅力あるロータリーづくり」に呼応。
- ③ 会員各層参加のプロジェクト。

*会員数増加の公式 (RI:2003年)

会員数の増加
membership = E+3R

Extend 拡大(新クラブ結成)
Recruit 新会員の勧誘
Retain 会員維持
Revitalize 活力の再生

第1期クラブ改革提言の内容

《クラブ改革の目標》
会員が充実したロータリーライフを享受することができ、かつ社会的評価(存在価値)の高いクラブに再生する。

《改革の方向性》
長期的なビジョン・戦略を定め、年度を超えて継続的に改革を推進する。

第1期クラブ改革提言の内容
《具体的提言》

1. ロータリー理念を共有化する。
 - ① 全会員対象のロータリー勉強会を定例化する
 - ② 新会員へのオリエンテーションを強化する
 - ③ 会員の自発的な勉強会を奨励する
2. 例会を充実させる。
 - ① 出席が楽しみな例会にする
 - ② オープンなコミュニケーションの場とする
 - ③ クラブ・フォーラムを活用する

第1期クラブ改革提言の内容

3. 委員会活動を活発にする。
 - ① 委員会を統合・再編し、活動を強化する
 - ② 活動・事業内容は、毎年見直す仕組みを作る
 - ③ 「現況報告書」を事業計画書として充実させる
4. 地域社会との関わり合いを深める。
 - ① 常に市民の声を聴き、新奉仕プロジェクトを開発する
 - ② 近隣クラブ・地区との連携を強化する

第1期クラブ改革提言の内容

5. 組織運営を活性化させる。
 - ① 理事会強化・クラブ協議会の活用などリーダーシップ機能を高める
 - ② 効果的な予算づくりの仕組みを作る
 - ③ 職業分類表を整備し、「会員増強」(組織強化)に活用する
 - ④ 『会員満足度アンケート』を継続実施し、会員満足度を高めてゆく

* CLPにおける9段階の実行策

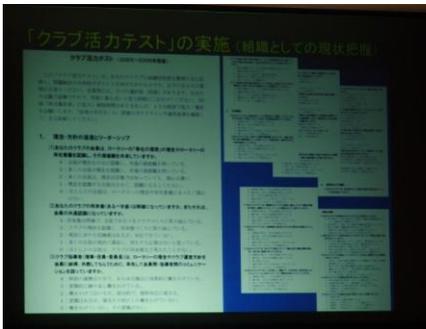
- ① 長期計画の立案
- ② 年度目標の設定
- ③ クラブ協議会での情報提供
- ④ クラブ内および地区・クラブ間の意思疎通
- ⑤ クラブ指導者の育成と継続性の確保
- ⑥ 委員会構成とクラブ細則の変更
- ⑦ 親睦の機会
- ⑧ 奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加
- ⑨ 包括的な研修企画

(2005年当時の CLP)

21世紀委員会の「クラブ改革提言」とクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)における「9段階の実行策」の符合は、世界のロータリークラブが直面している課題の共通性を表している!

→ **クラブ活力の再生**
Revitalize

**第1ステップ
クラブの現状を
把握する**



「会員満足度アンケート」の主な質問項目

- 前橋ロータリークラブの組織としての現状
- クラブとしての活動度合い(新会員勧誘、会員教育、地域社会に対する奉仕プロジェクト、国際的奉仕プロジェクト、ロータリー財団・米山奨学会への協力、...)
- クラブの活動に対する会員自身の参加状況(例会、委員会活動、会員増強、会員教育、奉仕プロジェクト、R財団・米山、広報、親睦、...)
- クラブの活動・プロジェクトへの参加に対する満足度
- 活動の費用に対する負担感
- 例会の満足度と魅力的な例会への提案

「会員満足度アンケート」・「クラブ活カテスト」の結果は

1. 会員はクラブと自分自身の現状に必ずしも十分に満足してはいない。
2. クラブは、組織とその運営に関して、改善すべき点が多々ある。
3. 私たちは、ロータリーの理念や、国際ロータリーの(諸活動の)意義について、知らないことが多い(勉強不足である)。

理想のクラブ像の検討

クラブの理想 (16項目)

1. 明るく活気に満ちた組織風土である。
2. 会員のニーズに適った会員本意の運営を行っている。
3. 会員は、充実したロータリーライフを享受し、満足度が高い。
4. 地域社会に存在価値を認められている。
5. 例会や委員会活動が活発である。

理想のクラブ像の検討

クラブの理想

6. 理事会がリーダーシップを発揮している。
7. 入会を希望する会員候補者が多い。
8. 会員に多様な「奉仕の機会」を提供できる。
9. クラブ独自の奉仕プログラムを持っている。
10. 職業人同士の事業上の発想の交換が活発に行われている。
11. 会員の学習と成長の環境が整っている。
12. 親睦と友情を育む機会がある。

理想のクラブ像の検討

クラブの理想

13. バランスのとれた職業構成が保たれている。
14. 会員基盤が安定しており、成長力がある。
15. 「歴史と伝統」に安住せず、また前例にとらわれず、内外の環境変化に対応し、新しい試みに挑戦している。
16. 指導者を養成したり、有益な情報・実例を発信したりできる、他の模範となるリーダーシップ・クラブである。

前橋ロータリークラブの21世紀委員会(2003~2006)の活動は **CLP(元気なクラブづくり)** であり、**クラブのビジョン・戦略計画づくり**でもあった。

会員満足度の向上(2004年→2006年)
(第1回~第3回「会員満足度アンケート」結果比較分析)

1. クラブ組織の現状に対する会員の評価が大幅に高まった。
2. RI や地区が提唱する諸活動への関心・理解が深まった。(関わる意識が高まった)
3. クラブの諸活動に積極的(主体的)に参加するようになった。
4. クラブの活動やプロジェクトへの参加の(会員自身の)満足度が高まった。

- 5. 会費やロータリー財団・米山奨学会への寄付金の負担感が減った。
- 6. 会員は毎週の例会を楽しんでいる。
- 7. 会員はクラブの会合を改善することに意欲的である。
- 8. 会員家族のロータリーに対する関心が高まった。

なぜ会員満足度が向上したか

(2004年→2006年)

- 1. アンケートを定期的の実施し、結果を会員にフィードバックし、問題意識を共有化した。
- 2. 実行可能な改善(例会の充実など)は、即実行した。
- 3. 改革提言をもとに、全員参加の新奉仕プロジェクトを開始した。
- 4. 3年間の各年度会長のリーダーシップのもと、継続的・具体的なクラブ改革運動を推進した。

成果の総括

- 3. 例会・委員会活動や奉仕プロジェクトに主体的に参加すれば(主体的に参加できる機会を多く用意すれば)会員満足度は高まる。
- 4. 一人一人の会員の満足度(充実感、参画意識、やりがい)を高めて行けば、クラブ全体の組織活力が高まり、元気なクラブになる。

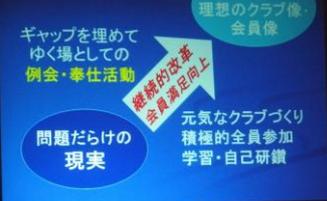
前橋ロータリークラブ 元気なクラブづくりの現状(2017年現在)

- 1. 「会員満足度アンケート」の定期的(毎年)継続実施
- 2. 「クラブ長期戦略計画委員会」の常設
- 3. グローバル補助金申請事業への挑戦
- 4. 分区内6クラブ合同奉仕プロジェクト(前橋学校フェスタ)の主管(毎年)
- 5. 新会員研修(年2回)の実施
- 6. 友好クラブ(新潟、水戸)との定期交流

前橋ロータリークラブ 会員数の推移

	2003年7月1日	2016年7月1日
会員数	98人	117人
内女性会員	3人	10人
平均年齢	60.3歳	60.5歳

為すべきことは、...



「会員増強」を一言で表現すれば、...

仲間を増やすこと

「仲間」= *Fellows* → *Fellowship*
共に「奉仕の理念(理想)」を信じ、ロータリーの諸活動に積極的に参加する「仲間」を増やすこと。

1. クラブのサポートと強化

Support and Strengthen Clubs

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- ・会員基盤の多様性を奨励する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

会員の勧誘と維持を改善する

Improve member recruitment and retention

会員の入会と参加促進を改善する

Improve member attraction and engagement

地区会員増強委員会 Membership Development

地区会員増強(入会・参加促進)委員会 Membership Attraction and Engagement

会員の入会と参加促進を改善する

Improve member attraction and engagement

attraction

⇒ 入会候補者(地域社会)に魅力的な(惹きつける)クラブ

engagement

⇒ 会員が積極的に参加したくなる
⇒ クラブ運営(例会・奉仕活動...)

日本のロータリー100周年(2020年)に向けて

「日本のロータリー100周年委員会」が設置され、3つの特別委員会が活動しています。(2016年7月〜)

- ① ビジョン策定特別委員会
- ② 記念式典等特別委員会
- ③ 組織運営特別委員会

2020年は日本のロータリーの 将来の方向性を定めて ゆくための大きな節目の年

ロータリーの理念と実践についての日本のロータリーのビジョンを、世界に向けて宣言・発信する絶好の機会

ビジョン策定特別委員会での議論整理

- 日本のロータリー100周年をどのように迎えるか?
- 日本のロータリーが直面する課題とは何か?
- 日本のロータリークラブはどうすれば元気になるか?

ビジョン策定特別委員会での議論整理

- 日本のロータリーが今後も存在感と影響力を高めてゆくには何が必要か?
- 日本のロータリーの奉仕の新世紀に相応しい未来志向のビジョンとは何か?
- 世界のロータリーに発信すべき価値あるビジョンとは何か?

ビジョン策定上の重要視

- 1. 一つ一つのロータリークラブが元気になるビジョンであること
- 2. 日本のロータリーの現状と課題を明らかにすること
- 3. 日本のロータリアンの英知を集めること
- 4. 世界のロータリーと協調して伸びるビジョンであること

RI戦略計画における

ビジョンづくりに呼応して、クラブも地区も、そして日本のロータリー全体も、新たなビジョンづくりに取り組むときではないでしょうか!

世界や地域社会に

変化をもたらすために私たちロータリーは、変化し成長し続けるなければならない!

国際ロータリー第2610地区地区研修協議会

クラブのビジョンづくりを進めよう!

～日本のロータリー100周年に向けて考えたいこと～

皆さまのクラブで、クラブの将来性についての議論が活発になり、ビジョンを共有した仲間とともに、クラブ活力高めと「会員増強」の取り組みが一層進むことと願っています。

2016年10月10日 本報 埼玉(前橋)